

# 記念特集で市内文化財12点紹介

総合印刷業のプリ・テック（本社西尾市緑町、高井英和社長、電話0563・55・0707）が制作する地域の月刊情報誌「文化の森」が創刊から300号を迎えた。創刊は1992年。西尾市内の文化的活動を紹介する目的で、市内全域に約3万5千部を配布してきた。記念号は20日、新聞折り込みで家庭に届けられる。

同誌は、印刷を通じた地域貢献活動として、編集・印刷を開始した。費用は西尾信用金庫、配布は西尾中日サービスセンターの協賛・協力を得

総合印刷業のプリ・テック

## 「文化の森」300号刊行



「文化の森」300号の特集面（左）と通常面

ている。通常はB4サイズで、両面に文化関連の講座・教室の募集や展覧会・展示会、各種公演や講演の案内などを掲載している。

記念号は、通常の2倍のB3サイズ。文化イベント情報は裏面に集約し、表面に市内の有形・無形文化財12点を掲載する。「後奈良天皇宸翰（直筆）般若心経」（同市岩瀬文庫收藏）や、源頼朝が建立させた県内最古の木造建築「国宝・金蓮寺弥陀堂」（同市吉良町）、平安時代初期から続く奇祭「鳥羽の火祭り」（同市鳥羽町、鳥羽神明社）、「一色の大提灯六組」（同市一色町、諏訪神社）などを紹介している。

（西尾）